

こんな簡単にチラシが作れるの!?

10/9

Webを使ったデザイン教室が開催されました

事業所の広報担当者向けのデザイン教室が、役場総合支所と山村開発センターで開催されました。

講師は、静岡文化芸術大学でデザイン学部を専攻し、現在は当町の地域おこし協力隊として活動する渡辺実優さん。「Canva」というデザインツールを使ったチラシづくりの方法について、実践を交えながら説明しました。Canvaは、25万点以上のテンプレート（ひな形）を使って誰でも無料でチラシ、画像編集、資料作成ができます。

参加者からは「思ったよりも簡単だった」「使いこなしたらいろんなことができると思うので、頑張っ



講師の説明に耳を傾ける参加者

豊かな地域社会を作るために

10/10

明治安田生命保険相互会社から寄付金が贈呈されました



目録を手に妹背支社長(右)と町長(左)

町民の健康増進や町民サービスの向上を図るために、連携協定を締結する明治安田生命保険相互会社の妹背俊紀静岡支社長より、寄付金が贈られました。

同社は、より豊かな地域社会づくりに貢献することを目指し展開している「地元元気プロジェクト」の一環として、全国の自治体や地域団体等に「私の地元応援金」による寄付を実施しています。

町長に目録を手渡した妹背支社長は「健康増進にお役立ていただき、今後もできる限りの支援を続けていきたい」と挨拶しました。

千頭に集まれ!仮装でハロウィン盛り上げ隊

10/19

ハロウィンはしご酒が開催されました

千頭ハロウィンはしご酒が千頭駅周辺で開催され、大勢の観光客や地域住民で賑わいました。

主催は、「千頭駅前を考える会」(代表 中原僚介さん)で、今年春の「千頭夜桜はしご酒」に続き2回目の開催です。

同会は、千頭地区を盛り上げたいという思いからSNSなどで参加者を呼びかけ、口コミが広がり、当日は多くの参加者が詰めかけました。

会場となった千頭駅周辺には、思い思いの仮装をした人が行き交い、チケットを片手に各店舗の食べ歩きを楽しみました。特設ステージでは音楽演奏も行われ、大変盛り上がりました。



千頭ハロウィンはしご酒(千頭駅前)の様子

空き家の適切な管理を目指すために

10/28

空き家等対策の推進及び予防に関する協定を締結しました



静岡県司法書士会の井上尚人会長(右)と町長(左)

静岡県司法書士会と町は、空き家等対策の推進及び予防のため、相互に連携、協力を目的とした協定を締結しました。

現在、全国的に空き家の増加が課題となっており、適切に管理されていない空き家が地域の安全や景観、生活環境に影響を及ぼす前に、町では適切な管理や利活用促進のための施策を行っております。

今回の協定締結により、今後は空き家の適切な管理や利活用促進のため、相談対応や啓発活動などを連携して取り組むことで、地域における空き家問題の解決を目指します。

エコティ日記

町の自然資源を活かした地域観光事業に取り組む一般社団法人エコティかわね。今回は夏・秋に行った「海の子・山の子交流教室」の報告をさせていただきます。

体験を通じて、地域の魅力を実感



夏のBIG SUP 体験



秋のお箸づくり体験



秋の落花生収穫体験

8月と10月の2回、「海の子・山の子交流教室（山の体験）」が行われました。焼津市20名、川根本町17名の児童が交流を深めながら、夏はSUP体験やアプト式鉄道への乗車、資料館やまびこの見学。秋は落花生の収穫や、お箸づくりを行いました。

今回、行った落花生掘りは、久野脇地区の「恋がね農園」さんに受け入れていただきました。到着したらまず、子どもたちは畑に鳥害から守るためのネットがかかっているのを目にします。落花生がどうやって実っているのか、そこで初めて知る子もいます。体験では1人ずつ鍬くわを持って土を掘り、自分で収穫し、最後は試食も行いました。まさに五感をフル活用。もう1つ大事なのが、そこで「実際に落花生を育ててきた地域の方が加わり、子どもたちと伴走してくれること」でした。

もちろんこれはお箸づくりにも、他の体験にも共通します。準備段階から当日まで、「よく来たね」、「せっかくなら良い体験をしてもらいたい」という気持ちで、地元講師の皆さんから溢れていて、とてもよく伝わりました。そしてそのことが「川根本町にしかない、ここだけの体験」の土壤であると、改めて感じました。



(一社)エコティかわね
川根本町桑野山424-6
☎0547 (58) 7000
FAX0547 (58) 7001
Eメール: ecotkawane@gmail.com